

関係各位

長崎市立東長崎中学校
女子バスケットボール部
コーチ 山崎 純 男
A・C 西川 祥 司

佐世保トーナメント 2404067 結果報告 (2日目)

- 1 場 所 佐世保総合グラウンド体育館
- 2 期 間 令和6年04月06日(土)・07日(日)
- 3 試合結果 別記
- 4 詳 細

選手プロフィール				1日目第1試合 BEAT					1日目第2試合 祇園					2日目第1試合 大野					2日目第2試合 RDM					備考						
#	名前	年	身長	出身	S	時間	FG	FT	点	P	S	時間	FG	FT	点	P	S	時間	FG	FT	点	P	S	時間	FG	FT	点	P	Note	
1	南	②	151	矢上 小学校																										
2	大水	②	153	矢上 小学校	S	21	2/6	1/2	5	2	S	20	2/6	0/0	5	1														
3	藤川	②	151	矢上 小学校	S	24	0/7	0/0	0	0	S	26	5/15	0/0	10	0	S	20	0/7	0/0	0	0	S	28	2/7	0/0	4	1		
4	松山	②	157	矢上 小学校	S	27	2/9	1/2	5	0	S	27	5/10	0/0	10	3	S	28	8/12	0/2	18	3	S	28	7/16	1/4	16	2		
5	松井	②	164	高城台 小学校	S	27	5/16	3/4	13	0	S	27	8/13	0/2	16	1	S	27	5/11	0/0	10	0	S	28	4/14	4/6	12	1		
6	濱内	②	152	高城台 小学校													S	19	5/11	0/0	10	1								
7	平石	②	153	高城台 小学校																										
8	黒川	①	156	古賀 小学校																					1	0/0	0/0			
9	林	②	165	高城台 小学校	S	26	1/5	0/0	2	0	S	27	2/9	0/0	4	0	S	24	2/7	1/4	7	0	S	28	1/8	0/0	2	2		
10	松尾	①	150	矢上 小学校																										
11	袋良	①	152	高城台 小学校																										
12	溝上	①	150	古賀 小学校																										
13	吉田	①	154	高城台 小学校		15	5/10	0/0	11	1		13	3/15	0/0	6	1		22	2/14	1/2	5	0		27	5/10	1/2	11	2		
14	辻山	①	160	高城台 小学校																										
15	御手洗	②	155	古賀 小学校																										
16	楠	②	151	古賀 小学校																										
17	御手洗	①	152	古賀 小学校																										
18	瀬川	②	165	高城台 小学校																										
				1P	140	6			16		140	15			7		140	12			17		140	7			13			
左 : 東長崎				2P		9			10			12			13			14			25			10			11			
右 : 相手チーム				3P		9			11			8			13			12			19			18			13			
				4P		12			12			16			14			12			8			10			10			
○=勝ち ●=負け				計	●	36			49		○	51			47		●	50			69		●	45			47			

5 所 感

初日

このカップ戦には、福岡・佐賀・長崎の強豪が参戦していました。BEATというのは福岡のチームらしいですがランクはわかりません。ダブルチームをよく仕掛けてくるチームです。全国どこにでもいるチーム同様前に出てくる一方なのでイヤイヤをして逃げれば餌食になります。もっともイヤイヤ感が表情に出たのがユウリでした。ナナが餌食になったのはイヤイヤなのではなく、相手を置き去りにしていないのに途中で中間に次のプレイを渡そうとしたから引っかけられたのです。これはそのようなプレイの対応に経験不足だから出たプレイで教え込んでも理解することができない選手ではありません。

ナオはしっかり仕事をしましたが、それは私が教え込んだ当たってきたら置き去りにするまでドリブルを続けるという指示をしっかり取り込んでプレイしたからです。逆にユウリは理屈では判ってもイヤイヤ感を払拭できなかったからの結果です。このままだとミライに追い越されます。そのミライも確実ではなく軽~いプレイが相変わらず居残っているため断定はできません。

ともあれ、このカップ戦は今の東長崎の武者修行にはとても有益な練習試合となりました。明日の相手はさらに強い相手なので自分の中に棲み着いているイヤイヤ感を抑え込むことができればホンモノに近づくでしょう。今日の結果では強い相手に使える選手は6人しかいませんが、あと1人使える選手が増えれば希望が持てます。その、あと1人はユウナなのですが、日頃の様子を観察していてもまだ私に「使ってみよう」という気を起こさせる気配は伝わってきません。まだこどもだからです。

2日目

ユウリは昨日の試合でももカツが入ったので使えません。ももカツはもし内出血があれば放置しておくで化骨性筋炎になってやっかいなのです。さて試合は、ユウリがないのでパチパチ当たってくる相手にはうってつけのリナをスタメンに起用しました。当たりでした。ナナが潰されたのは強い当たりに対してイヤイヤをしたからではなくまだ未熟だからです。ユウリはイヤイヤが身体中から発散されていたのでももカツのおまけ付きになったのです。でも、チームが強くなったことは間違いありません。備考：RDMは長崎市内のクラブチームです。

文責：山崎